

Magic Mat II の導入(4)(HP 収載)

—Garrad401—

1. 始めに

今回は、Magic Mat II を Garrad401 に使用してみます。

2. Magic Mat II の試聴方法

厚さ 0.48mm の薄型ですので、既存のターンテーブルシートの上に敷いて使用してみます。現在のアナログプレイヤーのターンテーブルシートは、THE FUNK FIRM の Achromat ですので、その上に Magic Mat II を敷きます。



音源は聴きなれた下記を使用します。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

ゲオルグ・フドリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. Magic Mat II の試聴結果

最初に **Achromat** の状態で聴いておき、**Magic Mat II** をしいて聴き直します。
バッハの **Sonatas & Partitas** は、**Achromat** の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に **Crstal EpY-G** をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、**SPU Synergy** の押し出しはあるものの若干残っていた音の粗さは後退し、かなり細かいニュアンスも出るようになっていきます。**Magic Mat II** を敷きますと、余分な響きが後退し、音が引き締まってクリーンな表情が見えてきます。

ベートーヴェンの選帝侯のソナタは、**Achromat** の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に **Crstal EpY-G** をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、フォノステージが時代物の **Leak Point1** とは思えないほど芳醇な響きです。**Magic Mat II** を敷きますと、余分な響きが後退し、音が引き締まって、クリーンな打鍵の勢いがでてきます。

ワーグナーのワルキューレは、**Achromat** の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に **Crstal EpY-G** をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、これまでになく緻密さが増しています。**Magic Mat II** を敷きますと、一層解像度が増し、楽器の質感が向上するとともに、ソプラノやメゾソプラノの歌唱の位置が明瞭になり、ステージ感が向上します。

ヘンデルのメサイアは、**Achromat** の状態でも、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に **Crstal EpY-G** をセットしたことと、レコードアンチスタティックの効果で、合唱などは **SPU Synergy** の良さが発揮されて力強い歌唱です。**Magic Mat II** を敷きますと、解像度が向上し、合唱の迫力やソリストの歌唱の張りが向上します。

4. まとめ

Magic Mat II はピアノの打鍵の精度や合唱を含むような大編成の曲では解像度の向上など、望ましい方向に働きます。LP-12 や **ThorensTD124** であったような、ソロヴァイオリンなどの繊細な表現をそこなうこともなく、却って引き締まったクリーンな音が好ましく感じられます。

以上